

2019 年度（令和元年度）事業報告書

（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）

公益社団法人 Sumita Scholarship Foundation, Cambodia

I. 2019 年度（令和元年度）の重点事項の成果

公益社団法人 Sumita Scholarship Foundation, Cambodia (以下 SSFC)は平成 30 年 3 月 8 日に公益認定を取得し、一般社団法人から公益社団法人に移行した。（平成 29 年 4 月 19 日に一般社団法人として設立）

本年は設立 3 年目であり、就学支援・教育環境の改善支援とも充実した支援活動が行え、昨年よりさらに手応えを感じた。

1. 就学支援事業（奨学金給付）

シェムリアップ州バコン郡のアラン・ランサイ中学校とスレイ・ヴィボケイ中学校の 2 校で行った。奨学金給付生徒は両校合わせて 17 人、高校生 3 人を支援した。全員が貧しく学校に通えない生徒であり、大変喜ばれた。

2. 教育環境の改善支援

A) 先生の指導力向上の支援・年間 10 回・1 校に 3 日間指導した。

① スレイ・ヴィボケイ中学校で実践し、授業発表会をした。

ビボケイ中学の先生は全員が先生としての意識が高く、指導力の向上支援「生徒によくわかる授業の仕方」の 8 回の指導で全ての先生が目覚ましい進歩をした。シェムリアップ州教育長・バコン郡教育長の協力を得て、授業研究の発表会を 2019 年 7 月 10 日（水）に行った。郡内 13 中学から 63 人の校長と先生が参加した。州・郡教育局からも 13 人の職員が参加した。

② コンボンチュナン州チューキリー郡のボットロン小学校で指導を始めた。2019 年 8 月 22 日に授業発表会をした。郡内 17 小学校の先生 32 人州教育局 3 人、バコン郡教育局 6 人の職員が参加した。イエン・スラッ先生の授業はとても良かった。本人も自信を持てた発表会だった。

③ 2019年11月からはウエス・サボン小学校で指導力向上支援を行うことになった。

バクコン郡教育局ダン・ビッ・チカ教育長の紹介によるものである。

学校設備の良い学校と優秀教師として教育大臣表彰を受けた学校である。先生全員が35才以下と若く、意欲がある先生が多いように見受けられた。

④ 2019年11月からコンポンチュナン州チューキリー郡の小学校授業研究会集会で授業指導をすることになった。小学校担当オン・ボーレツ部長の要請で1月の集会から指導力の向上支援「生徒によくわかる授業の仕方」の指導をする。

B) 指導環境の整備の支援

① 校舎建設・トイレ設置・校庭道路舗装

シェムリアップ州バクコン郡スレイ・ヴィボケイ中学校に校舎1棟5教室を建設した。また教室までの通路3ヶ所約1,000㎡を石畳舗装した。トイレを4室新設し2ヶ所を修理し、綺麗にした。

② バクコン高校の分校をスレイビ・ヴィケイ中学校内に開設した。

バクコン高校スレイ・ヴィボケイ分校と言う。生徒・先生・村人たちから非常に喜ばれている。昨年まではバクコン高校進学者は13人であったが、分校が出来て42人が入学した。

③ 教材教具・理科実験道具・掛け図の支援

中学校2校にコンパス等の教師用教具・磁石・豆電球を使った実験道具・ビーカー等の沢山の理科実験器具を贈呈した。授業発表会の授業でも使って好評だった。ポットロン小学校には日本の支援団体から各教科の掛け図30枚・算数セット25箱・地球儀3個などの支援をしていただき、使い方を指導して授業に役立てた。

3. 広報・募金活動

日本国内における支援者募集も、カンボジアでの支援活動の実際をパンフレットやホームページ・インターネット、「によにゅむ通信」等で報告し、宣伝活動をした。

Ⅱ. 2019 年度（令和元年度）カンボジア教育支援活動の内容

1. 就学支援事業

カンボジアでは中学 3 年までが義務教育であるが、地方の州では中学 3 年で卒業できる生徒は、中学 1 年時入学生徒の半数に減ってしまう。（住田の 18 年間の調査結果）その原因の多くは貧困であり、「貧困のために中途退学をして、働かざるを得ない現状」がある。

退学する生徒の中には、成績もよく能力もあり勉学意欲がある生徒も少なくない。そのような生徒に就学支援をした。

■ 奨学金の給付対象中学生・高校生の条件

- 成績が優秀で真面目で人柄が良く貧困のために中途退学せざるを得ない生徒
- 中間・期末試験の成績が各学級で 5 番以内、又はそれに準ずる生徒
- 生徒の欠席日数が少ないこと。怠けによる欠席が無いこと。
- エイズや結核・肝炎など長期治療を要する病気を持っておらず、健康であること
- 上記の内容を含め、校長・担任教師が推薦した生徒

■ 奨学金給付を受ける生徒の学年と給付期間

- 原則として中学 2 年生以上高校 3 年生までを支援する。必要に応じて中学 1 年生も支援する。
- 給付期間は、1 年毎に SSFC の理事会で審査し更新する。原則として高校 3 年生まで支援する。

■ 奨学金給付の中止。中止の決定は家庭環境を調査の結果 SSFC 理事会で決定する。

- 給付生徒の家庭の収入が多くなり、3 回の食事や学費に困らなくなった時
- 給付生徒が学習に意欲をなくし怠け、成績が著しく悪くなった時
- 給付生徒が退学した時

■ 奨学金給付内容（物品を含む）

- 中学生・高校生の 1 年間の給付内容
 - ◇物品の給付
 - ・制服上着 2 着スカート・ズボン 1 着 ・ノート（200P）20 冊（中学

生 15冊)

- ・ボールペン青 10 本、赤 3 本 ・マーカー 2 組 ・その他必要文房具
- ・米 15Kg/月×12 ヶ月=180Kg ・運動靴 2 足

◇支援開始時 ・自転車 1 台 (必要時) ・鞆 1 個 (必要時) ・その他必要物品

◇お金の給付

- ・補習代: 6\$ / 1 教科・× 5 教科× 10 月 = 300\$
- ・教科書代 40\$
- ・生活費 10\$×10 ヶ月 = 100\$ (授業のある 10 ヶ月支給する)

■ 1 年間 1 人当たりの必要金額概算

- ・中学生: \$ 665
- ・高校生: \$ 788

■ 奨学金給付生徒

2018 年度奨学金給付生徒 10 人、新規 10 人に 2019 年 10 月、本人と面接し家庭訪問・状況調査をして支援を決定した。11 月から奨学金給付を始めた。2019 年 5 月の調査で、学校を退学し、また生活が改善されている事が分かり給付を中止した生徒がいる。

アラン・ランサイ中学校とスレイ・ビボケイ中学校の奨学金給付生徒の継続審査を 2019 年 10 月 17 日の午前に両中学の先生と校長の意見を聞き、生徒一人ずつ面接して継続を決定した。先生からは成績と出席状況・学校での生活態度、面接では家庭状況の変化を聞いた。

(1) アライン・ランサイ中学校

新規奨学金給付生徒 1 人

① マーソ・ポン (中学 2 年・女 13 才)

4 人弟妹の長女。妹は小学校 5 年、弟は 5 才と 1 才。母親と 5 人で暮らしている。父親マン・マウーは結核で 2019 年 7 月に死亡した。50 才だった。母親ブン・ソパー (33 才) が弟 2 人を連れて NGO の手伝いをしている。母親 1 人の働きで一家 5 人が生活しているので生活は苦しい。ご飯は 3 回食べられない日もある。家と土地は父親が残してくれたもの。ポンの成績は学級 41 人中 7 番である。数学が好きで勉強を続けたいし、高校へも行きたいと思っている。真面目でしっかり者。自転車は今あるのが使えるので、今年は辞退した。

継続奨学金給付生徒 2 人

① パー・ワン・シン (中学 2 年・男 13 才)

成績は学級 40 人中 9 番に上がった。シンは今、学校でも家でもとてもよく勉強している。(セフティー先生の話)。欠席日数・3 日。背も伸びて顔つきも穏やかになった。家庭状況は変わらない。

② カウ・ティ (高校 1 年・女 16 才)

中学卒業試験の成績は 78 人の合格者中 39 番。欠席日数・0 学習態度・目立たないが真面目に勉強している。父母は一生懸命働いているが、生活が苦しいのでティを高校に行かせられない。そこで継続して給付することにした。

中止奨学金給付生徒 6 人

① チューン・ソ・ポアン (中 1・女 12 才)

父親は工事場で働き月 150\$ 稼ぐ。母は病気で働けない。月に 5 回病院に行く。小学校 6 年の成績は 42 人中 8 番。生活が改善して給付を中止した。

② ピップサ・アエン (中 3・女 14 才)

母はエイズで父と離婚した。貧困のため奨学金を給付したが、2019 年 5 月の調査で、アエンは父親に引き取られ生活が豊かになったので、父親と話し合って給付を中止した。

③ ソン・ジュン (中 3・女 18 才)

2019 年 5 月の調査で、庭環境は良くなったが、本人は学習意欲を失いバイクで遊びまわって、成績も著しく落ちたので奨学金給付を中止した。

④ ピッ・ウィ (高 1・女 18 才)

2019 年 5 月の調査で、生活が改善していることが分かり、奨学金給付を中止した。

⑤ ラワ・ディ (高 2・女 18 才)

2019 年 5 月の調査で、5 月に月額 100\$ のアルバイトが見つかり、働き始めたため、本人と話し合い奨学金給付を中止した。

⑥ ニューン・ナイ (中 3・女 17 才)

2019 年 5 月の調査で、父親は田を 5 ha 持ち家族で 1 年間食べる分を除き米間屋に売っている。大工もして月に 150\$ 稼ぐ。生活は貧しくないため中止。

(2) スレイ・ビボケイ中学校

新規奨学金給付生徒 9 人

① チェン・チャート (中学 2 年・男 14 才)

4人姉妹の2番目。姉は結婚している。父母は妹2人を連れてコンポンチュナン州の工場に出稼ぎに行っている。チャートは祖父母と一緒に住んで、ご飯を食べさせてもらっている。父母は1ヶ月5万リエル(12.5\$)送ってくるが、学費に回す余裕はない。成績はとてもよく、学級の62人中1番である。数学が得意で高校・大学にも行き先生になりたい夢を持っている。昨年度の欠席はなし。明るく利発そうで笑顔が良い。

② ヘイン・カイ (中学2年・女12才)

5人姉妹の次女。姉は高校1年・妹は10才、4才、2才の3人がいる。両親は貧困のため小学校低学年で学校を退学したので、子どもには教育を受けさせたいと思っている。父親ハン・ヘイ(36才)は工事場で働き1ヶ月150\$の収入がある。母親オン・コーン(36才)はお菓子を作って売り、1日2.5\$稼いでいる。カイの成績は学級62人中6番で国語と数学が得意。

③ ヒエン・ティーハー (中学2年・男13才)

3人兄弟の長男。父親ニャップ・ティエン(39才)は1haの田を持っている。親子5人で9ヶ月食べられる米が採れる。農閑期は工事場で働き、1日6\$稼ぐが毎日仕事が無い。母親ラップ・ミーは身体が悪く働けない。成績は学級62人中2番。性格は無口でおとなしい。

④ コン・キン (中学2年・男13才)

3人姉妹の次女。姉は高校3年生。父親ポー・クオン(50才)は小学3年で退学した。母親ポッ(43才)は小学校に通っていない。父母とも3人の子どもには教育を受けさせたいと思っている。田を2ha持ち収穫した米で家族5人1年間は食べられる。母親はゴザを編んで1枚10\$で売れるが月に3枚しか編めない。姉とティムの学費を払うのは大変だが学校に行かせたい。ティムの成績は学級62人中8番。数学が得意。

⑤ ソート・カウン (中学2年・女14才)

3人兄妹の3番目。父親は10年前に死亡。母親フン・コー(42才)は工事場で働き、月に70\$稼ぐ。長男(22才)乾季は工事場で働き、月に150\$稼いでいる。雨季は田の耕作を請け負って働いている。次男は働きながら師範学校へ通っている。カウンの成績は67人中3番。国語が得意。食事の支度を毎日している。

⑥ チョム・サ (中学2年・男18才)

7人兄弟の6番目。姉2人は結婚している。兄2人は働いている。高校生の兄と妹(小学生)とサの兄妹が両親と暮らしている。父親パー・チョム(54才)は田を2ha持っている。収穫した米で1年間は食べることが出来る。母親コーイ・ヒム(51才)は莫莖を作って売っている。1枚作るのに10日かかり10\$で売る。サの成績は67人中6番。数学が得意。子どもが多く生活が苦しかったので、サは10才で小学校に入学した。勉強させたいが兄とサの学費を出すのは苦しい。

⑦ ティエ・スマイ・パンニャー (中学2年・男14才)

父親ヤン・チーエ(38才)は病気で働けない。母親はパンニャーが生まれたときに死亡。祖母の家で父親と3人で住んでいる。祖母の子ども(父親の兄弟)の送金で生活しているので、ご飯は朝と夜の2回の日が多い。祖母は自分の子どもに教育を受けさせられなかったので、パンニャーには学校に行かせたいと思っている。パンニャーの成績は67人中10番。もっと頑張ると約束した。

⑧ チョン・サム (中学3年・男17才)

4人弟妹の長男。父母ともに小学校低学年で退学しているので、子どもには教育を受けさせたいと思っている。父母ともに働き者。父親コン・チュン(40才)は出稼ぎや工事場で働き、田を2ha買うことが出来た。米が3t採れるので家族6人1年間食べられる。母親リーン・ライ(39才)は工事場の仕事が無いときは莫莖を編んで売る。父母は頑張って働いてサムを大学まで勉強させたいと話した。サムの成績は37人中3番。積極的に行動し、贈呈式では司会をした。田の手伝いや莫莖の材料取りをして父母を助けている。

⑨ ロン・チョン (中学3年・女16才)

7人兄妹の5番目。長男次男は結婚している。3男(23才)はバクコン高校3年で、働きながら学校に行っている。4男(20才)は小学校6年で学校を辞め出稼ぎに行っている。小4と小1の姉弟がいる。父母ともに働き者。父親ローン・ロン(53才)と母親コイ・チャ(50才)は小学校にも入学しなかった。田畑が無く手伝い仕事で2人合わせて1ヶ月140\$稼ぐが子どもが多く、生活は苦しい。子どもの教育に熱心だが高校にはいかせられない。チョンの成績は35人中4番。母親の莫莖編みの手伝いもしている。

継続給付生徒 8 人

① スーン・ダン (中学 2 年・男 14 才)

成績・学級 62 人中 10 番。欠席日数・2 日 学習態度・真面目でよく発言し、勉強を頑張っている。家庭状況は変わらない。

② ピー・スレイ・トウ (中学 2 年・女 13 才)

成績・学級で 62 人中 8 番。欠席日数・2 日 学習態度・頑張っているので、テストも良くなり順位も上がった。家庭の貧しさは変わらない。兄姉の送金で母と生活している。

③ ケッ・ヌーン (中学 2 年・女 16 才)

成績・学級 62 人中 18 番。欠席日数・7 日(Deng 熱) 学習態度・目立たないが真面目に勉強している。祖母と母の仕送りで暮らしている。貧しさは変わらない。

④ コーン・ティム (中学 3 年・女 13 才)

成績・学級で 62 人中 1 番。欠席日数・0 日 学習態度・活発でよく発言する。テストもいつも 1 番を取っている。家でも 2 時間くらい勉強する。貧しいので日曜日は牛の世話のアルバイトしている。

⑤ ウーン・ソペア (中学 3 年・女 16 才)

成績・学級で 62 人中 5 番。欠席日数・4 日(Deng 熱) 学習態度・授業に集中している。発言も多い。家庭状況は変わらない。

⑥ コン・サイ (中学 3 年・女 15 才)

コツコツ勉強している。母親が 8 月に死亡した。生活は益々苦しくなった。食事の支度を毎日している。3 女は高校を卒業してシムリアップで働いている。

⑦ ジェット・ピー (高校分校 1 年・男 19 才)

中学 3 年次の成績・学級 37 人中 3 番。中間テストは 450 点満点で 429 点を取った。欠席日数・15 日(Deng 熱) 学習態度・真面目でコツコツ努力する。何事にも積極的で礼儀正しい。生徒と先生の誰からも好かれている。

⑧ リー・ソック (高校分校 1 年・女 16 才)

中学 3 年次の成績・学級 37 人中 5 番。欠席日数・0 日 学習態度・働きな

がら勉強も努力している。働きに行ったので面接できなかった。(祖母と妹、私の生活の柱)

2. 教育環境の改善支援

A) 先生の指導力向上の支援

(1) 成果－1－

■授業研究協力校 1 スレイ・ヴィボケイ中学校 2 ボットロン小学校

○指導力向上支援の年間計画を次のように立て、実践した

SSFC の「生徒によくわかる授業の仕方」は第1回目から最終回の授業発表会まで「全7回で完結するプログラム」を立てて実践した。

○その結果、先生は「生徒によくわかる授業の仕方」が分かり指導力が向上した。

■指導日程と指導内容。

第1回 2018年10月・学校調査及びSSFCの活動説明

①生徒によくわかる授業の仕方の説明

②先生へのアンケート

第2回 2018年11月・SSFCの目指す授業の説明と理解

①プログラムの進め方の説明

②授業参観・授業研究会

③模範授業の開催

・先生を生徒にして模範授業をして見せる

・授業研究会（指導案の書き方・指導力向上4項目の説明）

第3回 2019年1月・模範授業の開催の開催

①先生も参加して、生徒に授業を実施

②研究会で指導力向上4項目の説明、質疑応答（指導案・4項目の資料配布）

第4回 2019年2月・現地の先生の授業実践

①5人の先生の授業参観（その内の1人の先生の授業を全員で参観）

②授業研究会（全員で参観した先生の授業の流れと指導力向上4項目を中心にして。他の先生の授業指導も行う）

第5回 2019年4月・現地の先生の授業実践

①5人の先生の授業参観

②授業研究会（授業の流れと指導力向上4項目を中心にして）

第6回 2019年6月・現地の先生の授業実践の習熟

① 5人の先生の事業検討会（授業発表会の指導案と資料・授業の進め方を話し合い検討する）

② 授業研究会（授業の流れと指導力向上4項目を中心にして）

③ 研究発表会の準備

第7回 2019年7月・授業研究発表会

① 授業発表会（午前中）

② 研究発表内容の発表全体会

③ 教科毎の研究発表（教科別分科会）

■ 2校の先生に「指導力向上のための指導」を以下の内容で行った。

□ テーマ「生徒によく分かる授業の仕方」

○ テーマ設定の理由：「先生の指導力の向上が急務である。」

① 師範学校を卒業した先生でも、諸々の事情により「生徒によくわかる授業」「生徒の学力を向上させ、身に着けさせる授業」を実践している先生は、ほとんどいないと言っても過言ではない。

② 学校の授業は自習が多い。先生は授業の始めに、口頭又は黒板に課題を書いて「○ページを読んで、分かったことをノートに書きなさい。」と生徒に指示し、自習をさせる。先生が解答し教える事は余りない。

③ 校長の許可を得て授業参観をしていると、先生に教える内容の知識が少なく教えることが直ぐに無くなってしまい、先生もボーとしていることが多い。

④ その原因としては授業前に、教えることを勉強していない。1時間の授業計画を立てていない。生徒に分かるように教える意欲がない、等があげられる。

⑤ カンボジアの教育省は、外国の支援を得て、先生が授業を進めるための先生用の指導教科書「1時間の授業の流れ（始めに出席をとるから始まり・1時間毎に、授業で教える内容が書いてある）」を全教科作って、学校に配布した。（作成年度は2010年頃・教育省チャップ・ソポン NGO 担当部長の話による）それすら読まずに授業に臨む先生が多い。

⑥ 生徒に教えている先生の声が聞こえる教室もある。そこでは多くの生徒が授業に集中している。グループ学習を授業に取り入れている先生もいる。課題を与えて、解答を黒板に書かせているが、資料は教科書しかないのも、解答は1つである。図鑑や掛け図等、資料がないのも、資料を元に意見を出し合い討

論し、生徒同士高め合い、考える力を養う事が出来ない。

⑦ 授業のまとめに、今日の授業で教えたことを覚えさせる事をしていない。終業の鐘が鳴ると授業は終わりである。宿題を出す先生もいるが、答え合わせもしないので、多くの生徒はやってこない。

（上記はカンボジア外務省 INGO 担当部長・元中学校校長・教師の話と18年間、住田がカンボジアの小中学校を調査に行き、実際に見た授業から）

◎カンボジアの先生に「生徒によくわかる授業の仕方」と「先生としての意識を持つこと」を教え、日々の授業で実践する事が急務である。

■ 指導力向上のための年間計画作成の考え方

◎ カンボジアの先生の指導力の向上のために、「生徒によくわかる授業の仕方・4項目」を理解させること。SSFCが指導する1年間に、全員の先生に理解させ4項目を元に授業実践をして、放課後の研究会で話し合い指導を受ければ、更に理解が深まり、生徒によくわかる授業ができる。

◎ 当法人が模範授業をして4項目を実践指導すれば、先生の理解は増し指導力は向上して身に着くと考える。その結果、カンボジアの先生は「生徒によくわかる授業が出来、日々生徒の学力は定着し、年間を通して高い学力を身に付けさせることが出来る」と考えて年間計画を作成した。

◎ 「生徒によくわかる授業の仕方・4項目」とは

1項目：授業を行うに当たって、「事前の勉強や準備」を十分にする。

2項目：授業の初めに「生徒に興味・関心を持たせる工夫」を取り入れる。

3項目：授業の中で「生徒に考える力を身に付ける指導」をする。考えさせる授業をするために時間を十分とる。先生がすぐに教えない。

4項目：授業の終わりに「生徒の理解度の評価」をする。先生が評価の結果を知る事が大事である。それを次時の授業見活かすこと。

（2）成果－2－

イ) 2019年7月10日（水）スレイ・ビボケイ中学校で授業研究発表会を開催
□参加者

シェムリアップ州・サイ・チャ・スホン教育長、

バクコン郡ダン・ヴィ・チカ教育長・郡教育局職員等8人

バクコン郡内13中学校の先生66人

□ビボケイ中学の先生全員が朝から授業を公開した

- ①ライ・ソマリー先生：1年数学「直方体と四角錐の体積の求め方」
- ②サオ・キムリー先生：1年理科「電気を通すもと通さないもの」
- ③リー・ティナッ先生：2年理科「水が流しだすもの」
- ④ソックン・リンダ先生：3年英語「時計の読み方」
- ⑤テック・サーブン先生：1年国語「肯定文と否定文・命令文」

○1日の時程

- ①受付開始：7時30分・出席名簿記入・出席個人表記入・昼食券配布
- ②公開授業：8～9時・9～10時・10～11時の3時間の内1時間、
校長・副校長・産休中の先生を除く先生5人全員が授業を公開した。
- ③全体研究会：11～12時・校長挨拶・州教育長挨拶・SSFCの指導内容の説明、ビボケイ中研究内容の説明（副校長）・実際の授業について説明
- ④昼食：12～12:40（SSFCが80人分の弁当を提供）
- ⑤教科毎の分科会：12:40～15:20参加者全員と授業公開した先生が専門の教科ごとに分かれて「生徒によくわかる授業の仕方」について話し合った。授業者が授業の説明をして、参加した先生が質問をした。司会はビボケイ中学の先生が行った。SSFCが各分科会を回り指導した。
- ⑥解散：参加者全員にガソリン代3ドルを支給した。

■授業参観した先生の感想

○317 高校・セラー先生（数学）：

私は数学の授業を見たが、とても楽しい良い授業だった。先生がどの生徒も褒めているので、生徒が先生を信頼していることを感じた。掛け算がすぐに出来ない生徒もいたが、数学が嫌いではなく一生懸命勉強していることに感心した。先生の情熱が生徒に伝わっているのだと思った。とても参考になった授業だった。317 高校でもビボケイ中学の生徒は真面目だ。その理由が分かった。

○ランサイ中学・ノッ・サバー副校長（数学）：

段ボールで作った直方体と四角錐の1面を透明にして、土を入れた時に中が見えるように工夫した事。土と砂利を交互に入れて3倍入る事が見てわかる工夫した事もとても良かった。体積の計算をさせて直方体は四角錐の体積の3倍である事をわからせ、生徒同士で教えさせたことも良かった。

○フンセン中学・スーン・ロス先生（理科）：

電氣をと通すものと通さないものを、生徒が実際に実験して分かせたのがとても良かった。これなら生徒に良くわかる。結果を予想させて考えさせる授業が出来た。私も真似したいが実験道具が無いので貸してほしい。

○ブロック中学・サウ・キムホー先生（理科・水）：

自分で工夫すれば、身近にある物で実験道具が出来ることも分かった。生徒に実験結果を予想させ考えさせる授業は素晴らしい！私もやってみる。

○アンドン中学・ビチャイ先生（英語）：

なぜ教科書を使わないのか疑問に思ったが、リンダ先生の説明を聞いて納得した。各学年で教える内容を調べて、生徒の学力に合うように指導内容を組み替えるのは大変な仕事だが、指導内容が良くわかるので先生の指導力は向上すると思う。素晴らしいことだ。生徒も活発に発表するし感心した。私もやってみる。

○ブラサート中学・ソムナーン校長（英語）：

「1時間英語だけで授業をすることは、先生の英語力が高くないと出来ない」と私は思っていた。今日の授業を見て「先生の意欲があれば出来る」と教えられた。私の学校でも先生に事前の勉強をするようにして英語だけで授業をするようにしたい。まず1年生から始めたい。

○ターイ中学・ブッター先生（国語）：

私は先生になって2年目なので授業の仕方がわからない。生徒が授業に集中しないので困っている。ビボケイ中学の生徒が授業に集中して活発なので驚いた。私もあのような授業をしたいので「生徒によくわかる授業の仕方」を習いたい。先生が笑顔を絶やさず授業しているのを見て、私も見習いたい。

ロ）2019年8月22日（木）ボットロン小学校で授業発表会を開催。

□参加者

コンポンチュナン州教育局職員3人・郡教育局職員等8人
チューキリー郡内17小学校の先生33人

□ボットロン小学校の3人の先生が朝から事業を公開した。（1人は産休中）

- ①イエン・スラー先生：1年国語「単語の読み方書き方」
- ②ナウ・ナー校長：4年図書「物語の読み聞かせ」

③チャン・スライ・チャン先生：「時計の読み方・12・24時間制の読み方」

○1日の時程

①受付開始：7時30分・出席名簿記入・出席個人表記入・昼食券配布

②公開授業：8～9時・9～10時・10～11時の3時間の内1時間、
校長を除く先生2人全員が授業を公開した。

③全体研究会：11～12時・校長挨拶・州教育長挨拶・SSFCの指導内容の
説明、ボットロン小研究内容の説明（校長）・実際の授業
について説明

④昼食：12～12：40（SSFCが60人分の弁当を提供）

⑤教科毎の分科会：12：40～15：20参加者全員と授業公開した先生が
専門の教科ごとに分かれて「生徒によくわかる授業の仕方」
について話し合った。授業者が授業の説明をして、参加し
た先生が質問をした。司会はランサイ中学の先生がした。
SSFCが各分科会を回り指導した。

■州教育長代理の感想：この集まりの目的は、先生たちが良い授業を出来るようにするためだ。イエン・スラッ先生の国語の授業は自作の教具を使って生徒の興味を高めた1時間中楽しく活発な授業だった。このような授業を毎日すれば、生徒の学力は高まるだろう。田舎の貧しいボットロン小学校でこんなに良い授業をしていることは驚きだ。SSFCの指導の結果だと思う。皆も見習って欲しい。

■SSFCの感想：

① イエン・スラッ先生の授業

1時間中授業の様子を熱心にメモしている先生が多かった。携帯で写真を撮っている先生もいた。生徒の発表に頷き、楽しい授業に笑顔で授業を見ている先生が多かった。指導案の枠を書いた模造紙に授業の展開を記入している先生がいた。後で分かったことだが、郡教育局で決めたことで、記録の先生も順番が決まっているとのこと。

② チャン・スライ・チャン先生の授業：

初め期待して参観していた先生も、授業が進むにつれて私語が多くなり、教室を出る先生も多くなった。

③ ナウ・ナー校長の授業：住田の感想：

授業が始まってびっくりした。図書室に集まった生徒は1年生だった。校長は4年生で授業ををすると言うので授業計画は4年生用に作り模擬授業も4年生を対象として行った。4年生の授業は木曜日の午前には無いことを校長は忘れていた。登場人物の行動や物語の感想を聞くのは1年生には難しい。

B) 指導環境の整備の支援

(1)教材教具の支援

2019年度はビボケイ中学校・ボットロン小学校の先生の要望により以下の教材教具を配賦した。

- ①数 学 備 品：先生用のコンパス 2 個、三角定規 2 組、分度器 2 個
- ②家 庭 科 備 品：小学生用掛け図 30 枚（各教科）算数セット 25 組
- ③理科実験道具：各種のフラスコ・ビーカー・試験管・試験管架・試験管立て・ロート・三脚・石綿金網・三角金網・アルコールランプ・U 字型と棒型磁石・方位磁石等

◎実験道具の使い方の実技指導をした

- ④社会科備品：地球儀 2 個

(2)教育環境の整備の支援 1

- ①ビボケイ中学に校舎 1 棟 5 教室を支援した。
 - 5 教室と廊下は全てタイルを張った。
 - 教室の黒板を白板にして設置した。
 - 白板の両サイドに大きな掲示板を付けた。
 - 各教室にスチール製の戸棚を設けた。
 - 各教室に下駄箱を設置した。
- ②ビボケイ中学の校門から旧校舎前をすべて石畳舗装した。新校舎前の校庭も幅 3 m 長さ 50m に渡って石畳舗装した。
- ③トイレ 4 室の新設及び古いトイレ 2 室の改修をした。1 室を先生専用のトイレとした。トイレの床はタイル舗装でカンボジア式トイレ。先生用は様式。

(3) 教育環境の整備の支援 2

- ①シェムリアップ州バコン郡バコン高校の開校

ビボケイ分校をビボケイ中学校内に開設した。片道 20 Km あるバコン高校にはバイクでなければ通えず、昨年は 13 人しか進学しなかったが、今年度は 42 人が進学した。

平成31年度事業報告の附属明細書

平成31年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年6月

公益社団法人 Sumita Scholarship Foundation, Cambodia